

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 森の魅力創出支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 森林サービス産業支援係 電話番号：058-272-1111(内4345)

E-mail : c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,155 千円 (前年度予算額： 2,500 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	2,500	1,250	0	0	0	0	0	0
要求額	4,155	2,077	0	0	0	0	0	2,078
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

これまで、山村地域において、林業以外で事業として森林空間を活用することは登山やキャンプ等の野外活動の愛好者が中心であったため、セルフガイドやボランティアによる低廉な事業が主体であったが、近年、自然志向が高まる中で、健康・教育・観光などをターゲットとして質を高めた森林空間利用(森林サービス産業)へのニーズが高まっており、山村地域における新たな雇用や収入、関係人口の創出が期待されている。

しかし、岐阜県内においてはニーズに対応できる施設や体験メニューが不十分であり、森林空間の活用により森林サービス産業を育成する必要がある。

県ではこれまで、ぎふ森のある暮らし協議会と連携し、事業者同士の交流や研修などを進めてきた。

本事業は、森の魅力創出支援事業費補助金を採択した事業を、より収益性の高い事業に磨き上げるため、伴走型支援を行うとともに、森林サービス産業の優良事例の普及啓発を目的とした勉強会を開催し、森林サービス産業の振興を加速化を図る

(2) 事業内容

安全安心で質の高い事業の創出を支援することで、森林を活用した新たなビジネスを育成する。

○事業内容

- ・森林空間の価値の創出、ビジネス化支援
- ・森林サービス産業の優良事例(成功例)の普及啓発
- ・インバウンドの受入れに向けたモニターツアーの実施

(3) 県負担・補助率の考え方

第4期森林づくり基本計画に基づく事業であり、森林サービス産業を育成するため県が実施することは妥当。

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,080	プランニング（720）、育成支援（360）
旅費	129	プランニング費用弁償（86）、育成支援（43）
委託費	2,946	先進事例勉強会（646）、インバウンドモニターツアー（2,300）
合計	4,155	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

第3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

1 森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興

(2) 国・他県の状況

国：森林サービス産業（健康経営分野）モデル事業を実施

（R3年度：7地域支援、R4年度：5地域支援）

(3) 後年度の財政負担

第4期岐阜県森林づくり基本計画の終期である令和8年度まで事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

森林空間の活用促進により山村振興を目指すものであり、県が実施すべきものである。

また、森林空間の活用促進には、企業・団体等の様々な知見を活用する必要があり、第4期岐阜県森林づくり基本計画において森林サービス産業の育成について明記されていることから、当該経費を支出することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	森の魅力創出支援事業費
補助事業者（団体）	民間事業者（森林サービス事業者）、森林組合等 (理由) 県内の森林サービス産業に係る新たな事業を開始しようとする事業者を育成するため
補助事業の概要	(目的) 民間事業者や森林組合等が行う森林サービス産業に係る事業を支援することにより、森林サービス産業の育成を図る (内容) 民間事業者や森林組合等が行う森林サービス産業に係る新たな事業について、施設整備費、物品購入費、委託費、その他経費について支援する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 補助事業に要する経費の1/2を補助 (理由) 想定される事業費を算出した上で決定
補助効果	森林サービス産業に取り組む事業者が増加し、県内の森林サービス産業の育成が推進される
終期の設定	終期8年度 (理由) 第4期岐阜県森林づくり基本計画（R4～R8年度）の終期

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

県内では、近年の自然志向が高まる中で求められるニーズに対応できる施設や体験メニューが不十分であり、森林サービス産業を育成する必要がある。当該補助金により、県内に質の高い森林サービス産業の事業が増加することで、山村地域における新たな雇用や収入、関係人口の創出を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①森林サービス産業起業者数（者）	-	3	6	12	20	15%

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	・セミナー及び研修会の開催やプランナー派遣を行い、新たな森林サービス産業に取り組む企業者支援を行った。
	指標① 目標：3 実績：3 達成率：100%

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	ライフスタイルの変化により、多様な体験や暮らし方が求められており、森林空間の活用に対するニーズが高まっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	これまで森林サービス産業にかかる事業の進め方に悩んでいた事業者に対し、当該事業で実施している研修会や交流会、プランナー派遣制度等が事業運営のヒントとなっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
第4期岐阜県森林づくり基本計画の目標である「森林サービス産業起業者数」の達成のため、人材育成や専門家による事業化支援、多様な主体との連携を深めるため会員交流会や、ビジネスマッチングに向けた異業種交流会を行う。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
第4期岐阜県森林づくり基本計画の目標である「森林サービス産業起業者数」の達成のため、人材育成や専門家による事業化支援、多様な主体との連携を深めるため会員交流会や、ビジネスマッチングに向けた異業種交流会を行う。